

北海道胆振東部地震に伴う第 67 回高分子討論会の中止について

2018 年 9 月 7 日

公益社団法人高分子学会
第 34 期

会 長 加藤 隆史
担当副会長 櫻井 和朗

第 67 回高分子討論会

運営委員長 門出 健次

9 月 6 日未明に第 67 回高分子討論会の開催地である北海道地方で、最大震度 7 の巨大地震が起こり、甚大な被害が発生しております。被災された方々にお見舞い申し上げます。

高分子学会では、災害リスク対応ガイドラインに基づき、対策本部を立ち上げ、情報収集を行いつつ、催行について検討を重ね、以下のように決定しました。

開催地である札幌市では、電気は一部開通していますが、中心部のみで、まだ水道も使えない場所が多いということです。物流も寸断されているので、特に食料の不足など、市民は不自由な生活を余儀なくされています。

会場となる北海道大学の教員、学生も被災された方が多数おり、学内の電源が現時点で平時の 2 割程度しか復旧されておらず、会期中の使用については、目途が立たない状況です。

更に、気象庁からは、地震発生後 1 週間程度、最大震度 7 程度の地震に注意が必要であるとの発表があり、会期中に再び地震が発生する可能性もあります。

このような状況を踏まえ、余震による被災等、参加者の安全を最優先に考え、また、被災地である北海道、札幌市、会場予定の北海道大学の混乱を避けるために、第 67 回高分子討論会（9 月 12 日～14 日）の開催を中止することにいたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、予稿集は 8 月 29 日に発行済みで、参加登録者の皆様には Web 予稿集が公開されていることから、参加費の返金を行わないことといたします。なお、発表者の方々の発表については、必要に応じて発表証明をお送り致します。

懇親会費は、本人の申し出により、返金いたします。その他、詳細の取り扱いについては、追って学会のホームページでご連絡申し上げます。